【野田市におけるまちづくりの方向性】

【2駅周辺のまちづくりの方向性】

1++ 1		dam'
	-	400
本小	-	1

(まちづくり方針)

I 産業が育ん だ歴史と文化を 感じるまち

- 1. 歴史的・文化的・人的資 源と自然環境を活かしたまち づくり
- 2. 地場産業や農産物のブラ ンディング化、市の位置的優 位性を活かした交流を促進す るまちづくり
- II 野田市の資 源を活かした交 流が進むまち
- らせるコンパクトなまちづく
- Ⅲ 豊かな自然 環境と調和した うるおいのある 持続可能なまち
- 4. 様々な人々を対象とした 就業環境や福祉、教育環境の 充実したまちづくり
- IV 広域拠点の 形成と各地区の 拠点が連携した 賑いに満ちたま
- V 多様な世代が 住み続けたい・住 みたくなるまち

- 3. 多様な世代が健やかに暮
- 5. 広域拠点の形成と市内各 拠点が特色を活かしつつ連携 交流するまちづくり
- 6. 安全で安心した生活が送 れるまちづくり
- 7. 多様な移動手段で市内 を移動できるまちづくり

(1) 2駅周辺では、野田市の歴史文化を承継したブランドを活かした魅力 的なまちづくりを進める。

(2) 2駅周辺では、野田市全体の魅力を発信し、活力向上を図るとともに、 鉄道利用者の増加に資する機能、立地を促進する。

(3) 2駅の中間地域は、両駅からのアクセスの良さを活かし、観光資源と しての回廊の形成と商業の積極的再生・創出・活用等を図る。

(4) 東京8号線の整備効果を広域に発生させるため、東京8号線新駅及び野 田市駅の2駅並びに東武野田線市内各駅や主要駅相互間の移動の利便性等 の向上、各駅へのアクセス性等を高める。

(5) 新駅周辺地域は、都市機能が集積しながらも自然を承継した水とみど りのまちづくりを目指す。

(6) 新駅の周辺地域は、低炭素化を促進するモデル地区を目指す。

(7) 新駅の周辺地域は、自然災害に強いまちにする。

(8) 野田市を訪れる国内外からの観光客等の交流人口の増加に向けた拠点 づくりを促進する。

(9) 2駅は鉄道利用者が利用しやすく、野田市のシンボルとなる施設とす

図2 基本目標、まちづくり方針と2駅周辺のまちづくりの方向性の対応